

保護者の皆様へ

令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の状況について

札幌市立札幌緑小学校
校長 岡田 光紀

秋冷の候、保護者の皆様には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年4月に実施しました「令和8年度全国学力・学習状況調査」（6年生が受験）の本校の状況についてお知らせいたします。

札幌市では、札幌市全体の児童の学習状況を把握し、それを各学校における指導方法などの工夫改善に生かすことを目的として、この調査に参加しています。本校でも、この調査結果を参考にし、これからの教育活動に生かしていきたいと考えています。

〇国語について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
★知識及び技能 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▲全国平均に比べ、上回っている。 「情報の扱いに関する事項」 △全国平均に比べ、ほぼ同程度であるがやや上回っている。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・習った漢字を文や文章の中で正しく使うこと（「短い」などの一般的な漢字の表記定着） 「情報の扱いに関する事項」 ・目的に応じてメモや図を読み取り、必要な語句や情報同士の関係性を整理して理解すること	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ○前学年までに習った漢字を日常生活や文章記述の中で正しく活用する学習の継続 「情報の扱いに関する事項」 ○複数の情報や語句を図示・整理し、目的に合わせて関係性を捉える学習の充実
★思考力、判断力、表現力等 「話すこと・聞くこと」 ▽全国平均に比べ、ほぼ同程度であるがやや下回っている。 「書くこと」 ▽全国平均に比べ、ほぼ同程度であるがやや下回っている。 「読むこと」 ▼全国平均に比べ、下回っている。	「話すこと・聞くこと」 ・話し手の意図や工夫、動画・音声資料の構成を捉え、伝え合う内容を検討すること 「書くこと」 ・集めた資料や情報を引用し、自分の考えが伝わるように文章の構成や書き表し方を工夫すること 「読むこと」 ・文章を読んで理解したことや描写を、自分の経験や考えと結び付けてまとめて書くこと	「話すこと・聞くこと」 ○目的や相手に応じて、話の組み立てや表現の工夫について考え、話し合ったり発表したりする指導の充実 「書くこと」 ○根拠となる資料や情報を適切に引用し、筋道の通った文章を書く記述指導の強化 「読むこと」 ○文章の内容や特徴を正確に捉え、自分の知識・経験と関連付けながら考えをまとめる読解・記述活動の充実

○算数について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
★学習指導要領の領域 「A数と計算」 ▽全国平均に比べ、 ほぼ同程度である がやや下回っている。	「A数と計算」 ・異分母の分数の大小関係を判断し、単位分数の個数や数直線をもとにその理由を言葉や数で説明・記述すること。また、概数（四捨五入）の処理や基準量・割合の関係に基づいて立式すること	「A数と計算」 ○分数の構造や単位分数への理解を深め根拠を明らかにして説明・記述する学習活動の充実、概数の用い方や割合の意味を踏まえ日常の場面に即した立式をする学習の強化
「B図形」 △全国平均に比べ、 ほぼ同程度である がやや上回っている。	「B図形」 ・直方体や立方体を構成する面の位置関係や要素を捉え、体積の求め方（公式）の意味を理解して立式すること	「B図形」 ○立体図形の性質や構成要素（面・辺・頂点）に着目し、具体物や展開図等を活用して体積の求め方や公式の意味の理解を深める学習の充実
「C測定、変化と関係」 —全国平均に比べ、 ほぼ同程度である。	「C測定、変化と関係」 ・単位量当たりの大きさ（混み具合など）の意味を理解し、計算結果から正しく比較・判断すること。また、数量の倍関係（割合）を図に表して解くこと	「C測定、変化と関係」 ○単位量当たりの大きさを用いて数量を比べたり、伴って変わる二つの数量の関係を線分図等で視覚的に整理して考えたりする学習活動の充実
「Dデータの活用」 ▼全国平均に比べ、 下回っている。	「Dデータの活用」 ・帯グラフからおよその割合（％）を読み取ること。二次元の表から条件に合う数値を読み取り、集計の誤りやその根拠を表の数値と言葉を用いて記述すること	「Dデータの活用」 ○目的に応じてグラフや表から必要なデータを正確に読み取り、数値や根拠を明確にして説明・記述する学習活動の充実

○児童質問紙調査について

学習習慣や生活習慣に関するアンケートでは、以下のような特徴が見られました。

- ・ICT 活用の自信：「PC・タブレット等でプレゼンテーション用スライドを作成できる」と回答した児童は 77.9%（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）にのぼり、全国平均（74.6%）を大きく上回っています。授業での積極的な ICT 活用が、児童の自信につながっています。
- ・高い自己肯定感：「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童は 87.9%に達しており、全国平均（85.6%）と比較しても自分を肯定的に捉えている児童が多い傾向にあります。
- ・生活習慣の課題：「朝食を毎日食べている」児童は 73.6%で、全国平均（83.1%）よりも低い状況です。規則正しい生活習慣の確立は学力向上の基盤となるため、引き続き家庭の協力をお願いいたします。

■全国平均と本校 6 年生児童平均を比較して、全国平均を 3 ポイント以上上回っている質問

- ◇ PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると感じますか
- ◇ 解答時間は十分でしたか（国語）
- ◇ 解答時間は十分でしたか（算数）

■全国平均と本校 6 年生児童平均を比較して、全国平均を 3 ポイント以上下回っている質問

- ◆朝食を毎日食べていますか
- ◆将来の夢や目標を持っていますか
- ◆新聞を読んでいますか
- ◆読書は好きですか
- ◆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか